
富良野市スタートカリキュラム ハンドブック

安心の中で、自己を発揮しながら、仲間とともに主体的に学びに向かう富良野の子ども



富良野市教育委員会

令和3年3月



幼児期に
いっぱい
遊んで

たくさんの
わくわくを
感じて



学びの
ねっこを
育てたよ



子どもたちを中心に、みんなが交流し学び合う、幼小連携をめざして

いま、子どもたちを取り巻く環境は少子化などの影響により、幼児期からの家庭や地域内での子どもたち同士の遊びや学び合いの機会が少なくなっており、小学校入学時に不安をもつ子どもたちが増えていることから、安心して学べる環境づくりをすることが課題となっています。

このため、本市では幼小連携の取組を進めていますが、幼稚園教諭・保育士と小学校教諭が交流・情報共有の中で、それぞれの幼稚園・保育所・小学校での保育・教育活動を理解し創意工夫と連携による円滑な幼小接続により、学びの連続性を確保することが重要です。

また、幼稚園・保育所と小学校の子ども同士の交流により、園児は小学生にあこがれや親近感を持つことができ、小学生は幼児とのかかわり方も学ぶことができる機会づくりも効果的だと思います。そして、幼児期から小学校に至るまで様々な人たちが関わり連続した学びができていることを、保護者が理解し教育活動に参加することが、子どもたちの健やかな成長に大きな影響を与えるものであると思います。

これらのことを実現するため、富良野市幼小接続推進協議会に参加されている幼児教育・保育及び小学校教育関係者の皆様のご尽力により、「富良野市スタートカリキュラムハンドブック」を作成いただきました。このハンドブックの活用により、これから小学校に入学する子どもたちを中心に、幼児教育・保育と小学校教育の連携、保護者の理解と協力、地域も応援してくれる環境づくりが促進され、小学校生活が楽しく充実したものになることを大いに期待し、感謝の言葉を捧げます。

令和3年3月



富良野市教育委員会 教育長 近内 栄一

1	スタートカリキュラムの目的	P.1
2	富良野市のスタートカリキュラム全体構造図	P.1
3	アプローチカリキュラムからのスタートカリキュラム	P.3
4	幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を手がかりに	P.4
5	幼児教育施設の特徴から発達や学びのつながりを	P.6
6	生活科の単元を活用した、スタートカリキュラムの単元構成	P.7
7	生活科を中心とした弾力的な単元構成を	P.8
8	スタートカリキュラム作成の前に	P.9
9	はじめてみよう、スタートカリキュラム！	
	入学式前の準備	P.10
	入学式から3日間のタイムスケジュール	P.12
	スタートカリキュラム週案（1～4週）	P.16
10	子どもの力をさらに発揮するために（実践例をもとに）	
	スタートカリキュラムだけじゃない！年間を通して幼保小交流を	P.20
	子どもだけじゃない！大人どうしの交流を	P.22

1 スタートカリキュラムの目的

(1) 現状と課題

現在、富良野市内には幼稚園 4 施設、保育所 4 施設があり、どの幼稚園・保育所もそれぞれ特色ある教育課程が編成されている。また、小学校においても各学校の特色を存分に生かした教育課程が編成されている。

しかし、小学校入学を境とし、今まで培ってきた学びの系統が途切れ、教える側にとっても、学ぶ側にとっても、戸惑いを感じてしまうという現状も見られている。本市は、特別支援教育において、かねてよりシステム化された体制が構築され、教育委員会が主導となり、幼稚園・保育所、こども未来課、福祉施設、小学校教諭が年間通して連携を図り、定期的な会議や教員同士の交流が図られてきた。そこで、その強い連携を生かし、幼稚園・保育所と共に、地域に根ざしたスタートカリキュラムの編成をすることで、幼保小が一つの道となることが、子どもたちのよりよい教育につながると考える。

(2) 期待されること

「小学校は 0 からのスタートではない」という言葉にあるように、園児たちは、幼稚園・保育所でたくさんの経験を積み、学びの「資質・能力」を育んできている。幼稚園、保育所と連携してアプローチ・スタートカリキュラムを整備することで、児童の心の安定・安心を保証し、さらには幼稚園・保育所で学んできたことを生かした発展的な学びの実現を図ることができる。

富良野市のスタートカリキュラムで目指す子ども像

- ・安心の中で、自己を発揮しながら、仲間とともに主体的に学びに向かう富良野の子ども

2 富良野市のスタートカリキュラム全体構造図

(1) 全体像

【幼稚園・保育所】

- 自発的な学び
- 環境を通して行う教育・保育
- 遊びの中で、楽しみ、試し、工夫し、見通しをもつ、というように子ども自身が遊びを発展していくこと。
- ☆絵の具、粘土、季節の遊び、当番活動、友達と話し合って決めること…小学校の基礎となる学びは、幼稚園・保育所で経験しているよ！

【小学校】

- 自覚的な学び
- 系統的な学び
- 先生から与えられた課題に興味をもち、自分の課題として受け止め「解いてみたい」という意欲をもち学ぶこと
- ☆幼児期の経験をいかして、子どもたちの主体的な発言や意欲を大切に授業構築をしていきましょう！



富良野市の幼小連携 全体構造図

【富良野市教育目標】

- 〈健康〉郷土の生活を改善し、進んで健康の保持増進に努める。
- 〈経済〉たくましい開拓精神と創意工夫により郷土産業の発展を図る。
- 〈文化〉郷土の歴史と伝統を正しく理解・継承し、北国にふさわしい生活文化の創造に努める。
- 〈社会〉社会の近代性を正しく把握し、住みよい都市づくりに努める。

【課題】

- (1)教員同士の引き継ぎはあるが、児童や保護者の小学校への理解に向けての取組には課題が残る。
- (2)幼稚園教諭・保育所職員と小学校教諭の交流の場が少ない。
児童が幼児教育で培われた力をより効果的に発揮すること。

【幼小連携で目指す子どもの姿】

安心の中で、自己を発揮しながら、仲間とともに主体的に学びに向かう富良野の子ども

【幼小連携における目標】

～ 子どもの学びと育ちをつないでいく ～

- ①幼児期から小学校入学への希望をもち、安心して学校生活を過ごせる体制を構築する。
- ②幼稚園、保育所での経験を小学校生活でも活かし、自立と成長を促し、自己肯定感を高める。
- ③幼稚園、保育所と小学校が交流し、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を共有し、相互の教育活動の理解促進と向上を図る。

【地域の実態】

- 小学校(9校)
- 保育所(4園)
- 幼稚園(4園)

【幼小の関わり】

- ・要録による引継。
- ・特別支援児童においては市のサービス全体が関わり会議を実施。
- ・各学校における幼小交流の実施。
- ・相互の授業参観
- ・1日体験入学
- ・R1～合同研修開催

スタートカリキュラム に関すること

【単元構成と 配列の工夫】

- ①体験活動、友達との関わりを重視した、自覚的な学びに向かう単元構成。
- ②生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫による単元配列。

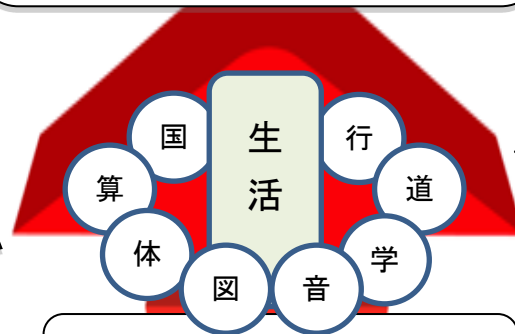
【週の計画と時間配分】

- ①弾力的な時間割の設定を行う。
- ②①の期間を学校全体の週案と関連づけ、組織的に見守る。

【5領域を通して育まれる】

健康・人間関係・環境
言葉・表現

幼稚園・保育所・小学校の交流機会を確保することで、児童が自らの成長を振り返り、さらなる意欲へとつながる。幼稚園で学んだ力を発揮することで、自己肯定感が高まり、次への学ぶ意欲へとつながることができる。



生活科を中軸に、全教科を通して学びの連続性を意識していく

児童の把握

【幼児期において育みたい資質・能力】

知識及び技能の基礎
思考力、判断力、表現力等の基礎
学びに向かう力、人間性等

連携・接続に関すること

【幼児教育の学びを 継続・発展】

- ①幼児教育の学びを生かし、幼児教育施設の意見を取り入れた教育課程編成と単元構築。
- ②幼小交流の場をもつ。
- ③校内研修に幼児教育施設職員を招くなど合同研修を行う。
- ④引継の焦点化を図る。幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿の活用。

共通のものさし

【幼児期の終わりまでに 育ってほしい10の姿】

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

3 アプローチカリキュラムからのスタートカリキュラム

○幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っている。

「幼稚園教育において育みたい資質・能力」

下図にあるように3つの柱に整理した。遊びを通した総合的な指導において一体的に育むもの。

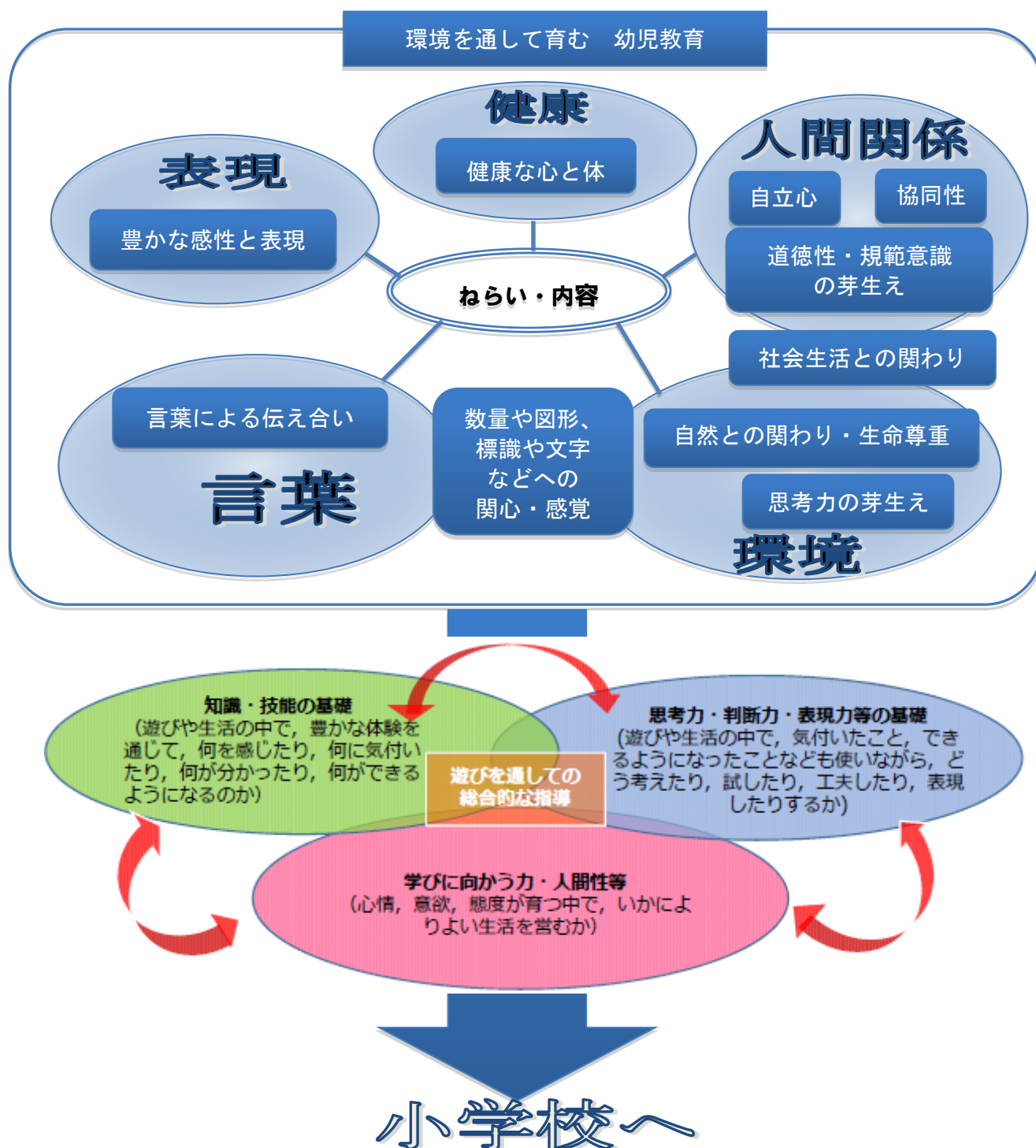
「5領域」

幼稚園教育において育みたい資質・能力を幼児の生活する姿から捉えたもの「ねらい」及び「内容」。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」

「ねらい」及び「内容」に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教員が指導を行う際に考慮するもの。幼児教育関係者以外への普及も行う。

※以下の図に「10の姿」と「5領域」において関連深いものと分類はしたが、「10の姿」は、分類した領域にとどまらず、5領域全ての内容と関わって育つ姿である。

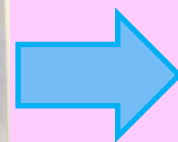


4 幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を手がかりに…

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿と資質・能力の関連	関連する教科
①健康な心と体 (知) 自ら健康で安全な生活を作り出すようになる。 (思) 見通しを持って行動する。 (人) 充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせる。	学校行事 特別活動 体育
②自立心 (知) しなければならないことを自覚する。 (思) 自分の力で行うために考えたり、工夫したりする。 (人) 諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる。	学校行事 特別活動
③協同性 (知) 互いの思いや考えなどを共有すること。 (思) 共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりすること。 (人) 充実感をもってやり遂げるようになる。	学校行事 特別活動
④道徳性・規範意識の芽生え (知) してよいことや悪いことが分かる。きまりを守る必要性が分かる。 (思) 自分の行動を振り返ったり、相手の立場に立って行動するようになる。きまりをつくったり、守ったりするようになる。 (人) 友達の気持ちに共感する。自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付ける。	学校行事 特別活動 道徳
⑤社会生活との関わり (知) 人との様々な関わり方に気付く。遊びや生活に必要な情報を取り入れる。 (思) 相手の気持ちを考えて関わる。情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになる。 (人) 家族を大切にしようとする気持ちをもつ。自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみを持つようになる。公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。	生活 国語 道徳
⑥思考力の芽生え (知) 物の性質や仕組みなどを感じとったり、気付いたりする。自分と異なる考えがあることに気付く。 (思) 考えたり、予想したり、工夫したりする。自ら判断したり、考え直したりする。 (人) 多様な関わりを楽しむようになる。新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをより良いものにするようになる。	生活 国語 算数
⑦自然との関わり・生命尊重 (知) 自然の変化などを感じ取る。身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づく。 (思) 好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現する。身近な動植物への接し方を考える。 (人) 身近な事象への関心が高まる。自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。	生活 道徳
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (知) 数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりする。 (思) 自らの必要感に基づき、これらを活用すること。 (人) 興味や関心、感覚をもつようになる。	生活 国語 算数
⑨言葉による伝え合い (知) 豊かな言葉や表現を身に付ける。 (思) 経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞くこと。 (人) 言葉による伝え合いを楽しむようになる。	生活 国語
⑩豊かな感性と表現 (知) 様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付く。 (思) 感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しむ。 (人) 表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。	生活 図工 音楽

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は、小学校のどの場面で輝くのか？ 分類していますが、どの項目とも関わりがあります。

健康な心と体



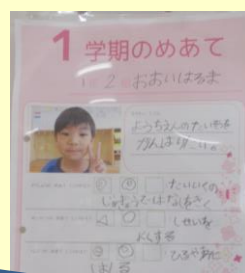
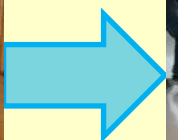
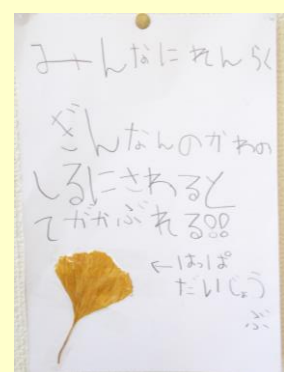
思考力の芽生え



(左) ボールを転がすとどうなるかな？
(上) 豆入れの底からこぼれちゃうな～

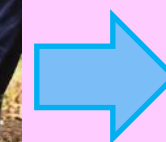


自立心



授業の後片付けは自分から

自然との関わり・生命尊重



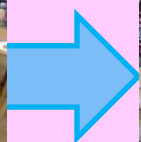
クワガタ見つけた！自分たちで育てるよ



協同性



バスレクについてみんな
で話し合おう



みんなで掃除をするよ



数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



数字で携帯電話を作ったよ



道徳性・規範意識の芽生え



青い線の上でトイレの
順番を待つんだよ



まだ遊びたい気持ちと葛藤中



朝の準備や給食は、
自分でできるよ

言葉による伝え合い



社会生活との関わり



豊かな感性と表現



5 幼児教育施設の特徴から発達や学びのつながりを

発達や学びの つながり	幼児期の教育			小学校の教育														
	1月	2月	3月	4月	5月													
慈恵ひまわり幼稚園	知識及び技能の基礎																	
【年長園児数】約50名 【園の特色】 ・自ら気付き、自ら考え行動する子どもを育む。 ・主体性と自己肯定感の芽を育む教育。 ・リトミックなど音楽による教育活動。																		
富良野聖園幼稚園							思考力、判断力、表現力等の基礎											
【年長園児数】約20名 【園の特色】 ・キリスト教的精神に基づいた幼児教育。 ・積極的に戸外の活動を取り入れ、自然とのふれあいを通して子どもたちの発達を促すようにしている。 ・4つの柱：遊びの大切さ、自然の中で、心の教育、生きる力																		
富良野みどり幼稚園													学びに向かう力、人間性等					
【年長園児数】約20名 【園の特色】 ・自ら考える子を目指す教育。 ・ヨコミネ式教育法を軸としながら、自然と学力を身につけるために、漢字を使った才能開発の実践。暗唱、群読などを取り入れている。																		
ルンビニ幼稚園																		
【年長園児数】約40名 【園の特色】 ・仏教保育に基づいた幼児教育。 ・体操教室や英語教育を日常的に取り入れ、メリハリのある教育活動を行っている。																		
保育所（虹いろ・へき地）							※同じ色の単位は、 総合的・関連的に扱うことのできる教科											
虹いろ【年長園児数】約25名 あおぞら【年長園児数】約3～5名 山部【年長園児数】約3～5名 東山【年長園児数】約3～5名 【保育の特色】 ・0歳～5歳児を通した一貫性のある保育。 ・基本的生活習慣を身につけた上での保育。 ・生き生きとして明るい元気な子どもを育む。 特にへき地保育所では、 ・小規模地域ならではの小学校との強い連携がある。 ・地域全体で一人一人を大切に育てている。																		
国語													なかよしのき たのしいいちにち わたしのなまえ おはなしたくさんききたいな	こえのおおきさどのくらい かいてみよう こえをあわせてあいうえお あいうえお	みつけてみよう、たのしくきこう かき、かぎ ことばをあつめよう			
書写													がっこうのもじたんけん	はじめのがくしゅう	ひらがながくしゅう			
算数													なかよしあつまれ	いくつかな				
学活							1年生になって	学校図書館の利用について	清掃オリエンテーション									
							学校の約束、持ち物の確認	1年生を迎える会に向けて										
							給食について	交通安全について										
生活							せいかつかがはじまるよ											
								わくわくどきどきしょうがっこう										
道徳							がっこうだいすき	きもちのよいせいかつ	なかよくね									
								あかるいあいさつ										
体育							身体ほぐしの運動遊び、多様な動きを作る運動遊び											
							リズム遊び・鬼遊び	走の運動遊び										
音楽							どんなうたがあるかな											
図画工作							かきたいものなぁに	ちょきちょきかざり	ひもひもねんど									
学校行事							入学式	避難訓練	心臓病検診									
	身体測定	交通安全教室	1年生を迎える会															
幼児教育施設の意見	・一人一人とのスキンシップをとりましょう。(帰り際のハイタッチなど) ・当番活動や始めの学習内容は、幼児教育施設でも経験しています。 ・児童の好きなものをさりげなく配置しましょう。(会話のきっかけになります) ・仲良くなれるよう、幼児期に経験した遊びをたくさん取り入れましょう。	・学習課題が見える頃です。要録を見返したり、園へ気軽に電話をしてみましょう。 ・全校参観日に幼児教育施設の職員をお誘いし、アンケート記入をお願いし(ハンドブックにアンケート様式を入れてあります)、学級経営に生かしましょう。	・学びの流れが定着している頃です。「幼児教育施設での学び」を基礎に、児童が主体的に自己を発揮できる学習指導計画を立てましょう。															

6 生活科の単元を活用した、スタートカリキュラムの単元構成

- 幼児期の「学びの芽生え」を、児童期の「自覚的な学び」へとつないでいくために●
～「スタートカリキュラム」の中核となる生活科から、単元構成を弾力的に扱う～

【スタートカリキュラムで目指す 富良野市の子ども像】
安心の中で、自己を発揮しながら、主体的に学びに向かう富良野の子

ポイント

幼児期の学びを
教育課程で接続する

※「遊び」を

取り入れた単元構成

各学校にて柔軟な単元構成を行う

【スタートカリキュラムの中心となる生活科の単元】
「せいかつかが はじまるよ」（4時間）
「わくわく どきどき しょうがっこう」（16時間）

- 【スタートカリキュラム期における、生活科の目標】
- 幼稚園、保育所での経験を小学校生活に活かすことで、自信をもち、学校生活における自立と成長を目指す。また、それらを通して自らを振り返ることで、自己肯定感を高めることができる。
 - 学校生活は様々な人や施設と関わっていることや一緒に生活する楽しさが分かり、生活上必要な習慣や技能を身に付け、楽しく安心して学校生活をしたり、安全な登下校をしたりできるようにする。

【大単元】「(例)ぐんぐん育て、○○っ子！～幼児期に育くんだ種を、おおきく咲かせよう」

安心

成長

自立

1
週
目

中単元：学校は楽しいところ～幼児期とくらべて

【小単元】
「学校生活のルールを知ろう」(学活、各教科との関連)
「せいかつかが はじまるよ」(生活)

活動や体験を通して、学びに向かう力を育むことができる。

安心ある生活の中で、自らの力を発揮することができる。

2
週
目

中単元：ともだちのこと、学校のことをもっと知ろう

【小単元】
「学習のルールを知ろう」(学活、各教科との関連)
「学校にいる人のことを知ろう」(生活)
「わくわく どきどき しょうがっこう」

先生や友達に認められることで、自信や意欲が生まれる。

幼児期の生活に近い活動を取り入れることで、安心して学習へと向かうことができる。

3
週
目

中単元：みんなと学習する楽しさを味わおう

【小単元】
「学校生活に慣れよう」(学活、各教科との関連)
「友達と一緒に学校のことを調べよう」(生活)
「わくわく どきどき しょうがっこう」

わかりやすく学びやすい環境構成をすることで、安心して学校生活を送ることができる。

4
週
目

中単元：自分らしくすごすために

【小単元】
「目標をもって生活しよう」
「わくわく どきどき しょうがっこう」

自分で考え、判断し、行動するようになる。

6年間の学びの基盤をつくることができる。

夢や希望をもち、前向きに生活していくことができる。

5週目より「教科を中心とした学習」がはじまる

7 生活科を中心とした弾力的な単元構成を（データもあります）

安心・安心感を持ち、新しい関係を築いていくことをねらいとした学習			自立：合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習			成長：教科を中心とした学習		
各教科等			1 単位時間			1 単位時間		
対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標		1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
国語	なかよし	3	国語の教科と目標について知る。	教科書の持ち方、読み方。	算数との合科【4月10日】	音読、お話を想像しよう。	「かいてみよう」と生活との合科【4月11日】	自分の好きな部分を紹介しよう。
	たのしいいちにち	2	挨拶について考えよう。	【4月27日】	学校生活での挨拶や言葉のかけ方について考えよう。	道徳と生活との関連【4月28日】	職員と話すときの話し方。【5月7日】	生活との合科【4月14日】
	わたしのなまえ	2	貸物列で自己紹介。	名前を呼ばれたら返事をすることを知らせる。	名前をつくらう。【4月16日】	国工との合科【4月17日】	名前や好きなものを紹介しよう。【4月18日】	
	おはなしたくさんききたいな	2	読み聞かせを聞いて、好きな場面を伝え合おう。	【4月22日】	図書室へ行く。	好きな絵本のお気に入りの場面を紹介しよう。【4月24日】		
	これのおおきさどのくらい	1	音読に親しむことができる。	音に合った声、座り姿勢、今後の取り組み【4月11日】	みんなで声を合わせて体育館で声を出す。【4月17日】	みんなで声を合わせて体育館で声を出す。【4月21日】		
	かいてみよう	3	正しい鉛筆の持ち方、姿勢の確認。運筆ゲームをしよう。	【4月30日】		クイズで当てよう習ったひらがな。【5月1日】	ひらがなを練習しよう。プリント学習の進め方。【5月7日】	
	こえをあわせてあいいうえお	1	あいいうえおの言葉を探そう。リズムのよさや音感を楽しもう。ノートの書き方。					
	あいいうえお	1	【4月11日】大文字、小文字、今後の取り組み【4月11日】	発達の名前からひらがなに興味をもつ。【4月11日】	生活と生活科【4月11日】			
	合科的な時間をひく	-2						
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
書写	がっこうのもじたんけん	1	学校の文字帳をしよう。	生活との関連【4月9日】	学校の文字帳をしよう。生活との関連【4月9日】			
	はじめのがくしゅう	1	教科と目標について知る。【4月9日】	鉛筆の持ち方。【4月15日】	書くときの姿勢。【4月16日】			
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
算数	なかよしあつまれ	4	【1】おはなしたくさんききたいな、生活との関連【4月11日】	算数の教科と目標について知る。【4月13日】	【2】おはなしたくさんききたいな、算数セットで遊ぼう。生活との関連【4月13日】	【3】「たりのかな」おはなしたくさんききたいな。【4月15日】		ワークやプリントの取り組み方。【5月8日】
	いくつかな	9	活動を通して数の感覚を働かして、物の根拠を数えたり、唱えたりすることができる。	1～5の数え方、読み方。【4月17日】	1～5の習熟。根拠を好きなものの絵で表そう。巡回工との関連【4月21日】	6～10の数え方、読み方。ノートの使い方。【4月23日】		
				6～10の習熟。ドリルの使い方。【4月24日】	10までの数の順序を理解する。生活との関連【4月27日】	10までの数の大小。【4月28日】		
				0の意味。【4月30日】	ことばであそぼう。数の概念。【5月1日】	10までの数を見つげよう。プリントの貼り方。【5月7日】		
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
学活	なかよくならう【1年生になる】「学校の約束（おもてなしの気持ち）」「給食について」「学校生活のルールについて」【1年生を迎える会に向けて】「学校での活動や仕事の手配」【交通安全について】	7	進んで気持ちのよい挨拶をしたり、きまきりを守ったりしようとする。	「1年生になる」生活と行事との合科【4月7日】	朝の支度、昼食の準備。【4月7日】	朝の支度、昼食の準備。【4月7日】	朝の支度、昼食の準備。【4月7日】	朝の支度、昼食の準備。【4月7日】
				朝の支度、昼食の準備。【4月7日】	朝の支度、昼食の準備。【4月7日】	朝の支度、昼食の準備。【4月7日】	朝の支度、昼食の準備。【4月7日】	朝の支度、昼食の準備。【4月7日】
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
生活	せいにかつかがはじまるよ	4	学校の生活の中で、できる限り生活の目標について知る。	生活の目標と目標について知る。【4月11日】	生活の目標と目標について知る。【4月11日】	生活の目標と目標について知る。【4月11日】	生活の目標と目標について知る。【4月11日】	生活の目標と目標について知る。【4月11日】
	わくわくどきどき16時間中12時間	12	学校の、もの、人、ことがわたり、楽しく安心して遊びや生活することができる。	学校の、もの、人、ことがわたり、楽しく安心して遊びや生活することができる。【4月13日】	学校の、もの、人、ことがわたり、楽しく安心して遊びや生活することができる。【4月13日】	学校の、もの、人、ことがわたり、楽しく安心して遊びや生活することができる。【4月13日】	学校の、もの、人、ことがわたり、楽しく安心して遊びや生活することができる。【4月13日】	学校の、もの、人、ことがわたり、楽しく安心して遊びや生活することができる。【4月13日】
				みんなで、まだ行っていないことを探検しよう。気付いたことやもっと知りたいことを伝え合おう。【4月22日】	みんなで、まだ行っていないことを探検しよう。気付いたことやもっと知りたいことを伝え合おう。【4月22日】	みんなで、まだ行っていないことを探検しよう。気付いたことやもっと知りたいことを伝え合おう。【4月22日】	みんなで、まだ行っていないことを探検しよう。気付いたことやもっと知りたいことを伝え合おう。【4月22日】	みんなで、まだ行っていないことを探検しよう。気付いたことやもっと知りたいことを伝え合おう。【4月22日】
				「わくわくどきどき しょうがっこう」探検地図を作る。グループで探検。さらに調べた情報を決めよう。【4月28日】	「わくわくどきどき しょうがっこう」探検地図を作る。グループで探検。さらに調べた情報を決めよう。【4月28日】	「わくわくどきどき しょうがっこう」探検地図を作る。グループで探検。さらに調べた情報を決めよう。【4月28日】	「わくわくどきどき しょうがっこう」探検地図を作る。グループで探検。さらに調べた情報を決めよう。【4月28日】	「わくわくどきどき しょうがっこう」探検地図を作る。グループで探検。さらに調べた情報を決めよう。【4月28日】
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
道徳	がっこう だいすき	1	道徳の教科と目標について知る。	楽しい学校生活を送るためには、【4月15日】	学校生活を送る上で大切なことは、友達との関連【4月16日】			
	きもちのよいせいけん		気持ちの良い生活を送るためには、		挨拶について、友達との関連【4月27日】			
	あかいいい あいさつ	1	気持ちの良い挨拶を考えよう。	友達・先生との合科【5月11日】				
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
体育	「体はてし運動遊び」「固定設置遊び」「鬼遊び」計10時間中4時間実施	4	だれとでも仲良くし、健康・安全に留意して意欲的に運動をやる。また、体動かすことの楽しさを味わうとともに基本的な動きを身に付けていけることができる。	リズムに合わせて走ったりスキップしたりしよう。【4月9日】	体育の教科と目標について知る。【鬼遊びを想起。】【4月14日】	「固定設置を使った遊び」道具で遊びよう。【4月23日】	「体はてし運動遊び」運動の順番やきまりを守って楽しく走ろう。【4月24日】	「鬼遊び」「体はてし運動遊び」運動の順番やきまりを守って楽しく走ろう。マットや平均台。【5月1日】
				「鬼遊び」「体はてし運動遊び」ルールを守って楽しく走ろう。いろいろな走り方。【5月7日】				
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
音楽	音楽にあわせて体を動かしながら、楽しく歌ったり聴いたりすることができよう。	5	貸物列で自己紹介。【4月8日】	音楽の教科と目標について知る。実習との関連【4月9日】	音楽に合わせて行進したり、身体を動かそう。1年生を迎える会の練習も含む。【4月16日】	音楽に合わせて行進したり、身体を動かそう。1年生を迎える会の練習も含む。【4月17日】	音楽に合わせて行進したり、身体を動かそう。1年生を迎える会の練習も含む。【4月18日】	音楽に合わせて行進したり、身体を動かそう。1年生を迎える会の練習も含む。【4月18日】
					音：「音楽に合わせて」歌を見つげよう。イントロリズム。【4月23日】	音：「音楽に合わせて」歌を見つげよう。イントロリズム。【4月23日】	音：「音楽に合わせて」歌を見つげよう。イントロリズム。【4月23日】	音：「音楽に合わせて」歌を見つげよう。イントロリズム。【4月23日】
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
図画工作	かきたいもの ななに	4	図工の教科と目標について知る。	「好きなかたちや いろ ななに」おひさまにここ。【これからの行事がねえまよう】に国語との関連【4月17日】	好きなものの絵で1～5の数を表そう。【4月17日】	好きなものの絵で1～5の数を表そう。【4月17日】	好きなものを絵で表そう。【4月24日】	
	ちよきよきかざり		「チョキチョキかざり」幼児期の体験を想起しながら、教室を飾り付ける切り紙を作ろう。【4月27日】					
各教科等	対象単元と実施時数	スタート期における各教科等の目標	1 単位時間			1 単位時間		
			1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分	1 5分
学校行事	6時間実施	6	各行事の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、進んで参加する。	入学式		身体測定		交通安全教室
				心臓病検診		避難訓練		1年生を迎える会

○45分を“15分×3”に分割する。
 ○単元の目標達成に向かって、児童の興味関心を途切れず、自発的な活動となるような単元構成をするために弾力的な時間割の工夫をする。

8 スタートカリキュラム作成の前に～児童の実態が大前提！

幼児の実態把握

小学校への安心感・期待感をもたせるために

✓就学予定の児童のようすを、幼稚園・保育所へ出向き、観察を実施後、幼稚園教諭や保育者との懇談を設定しているか。

✓入学前の幼稚園・保育所との合同引継会にて、要録を通して一人一人引き継ぎを行っているか。

※本ハンドブックのデータ保存版に、引き継ぎ用の様式を入れてあります。活用下さい。

✓保護者、幼稚園、保育所、福祉施設、医療機関、行政、学校間で情報交流をしているか。

✓一日体験入学を実施しているか。

□年1回、生活科を軸に、幼児と児童の交流の場を設定しているか。

□「参観日」を地域の方や未就学児の保護者に発信しているか。（学校規模による）

※R2年度より各園にスクールカレンダーを渡しています。

□小学校の学びや幼児教育施設の学びに関心をもっているか。

※R1年度より「お便り交換」をしています。カリキュラム構築の参考にしましょう。

校内の環境把握と整備

□幼児の実態把握後、実態に応じて必要な環境の整備を行っているか。

□児童が安心して学校に通えるよう、校内の組織体制を整備しているか。

※学校全体で一年生を迎えましょう。

□入学後の生活科を中心とした教科の学習に必要な環境設備、教材の準備をしているか。

コミュニケーションが生まれる掲示をしているか。

※自分でできる環境・目で見て分かる掲示の工夫



※会話を生み出す環境づくり(幼児教育施設の意見より)

※学びのきっかけをつくる掲示



9 はじめてみよう、スタートカリキュラム！

入学式前の準備

(1) 学校全体で1年生を迎えよう

- ・教室の装飾や掲示物、入学式に配布する物品は、他学年の先生に協力してもらい作成・準備を進めましょう。
- ・入学式前日までに、特別支援学級保護者説明会を開催。校内の特別支援教育の体制を説明し、担当の紹介を行う。そこで、入学式や始業式に向けての事前の打ち合わせを保護者と行っておく。また、入学式や始業式の前日登校の意向を確認する。

(2) 学年としての準備

- ☐ 名前テプラ（靴箱、ジャンパーかけ、ロッカー、机、イス）
- ☐ 配布物と個数の確認
(プリントをいれる袋、プリントの枚数、教材の個数、教科書の冊数)
- ☐ 学年目標の掲示
- ☐ 学級掲示物の作成。必要に応じてラミネートをかける。
- ☐ 座席表
- ☐ 学級名簿の作成。
- ☐ 学級の貼り出し名簿の作成。
- ☐ 入学後3日間の下校先を記入する表の掲示。
(入学式の帰宅時に記入してもらう。)

入学式の前日準備

時 間	内 容
朝	全員で動く前の準備 ・名前テプラの準備 ・座席表の掲示 ・配布物の準備
校内の人が集まったら	・名前テプラを貼る (机の名前シールにはPTA戸数の目印シールを貼ると便利) ・教材の配布 ・プリントの配布 ・最後の確認作業 ・教室、校内廊下、体育館の装飾 ・入学式でイスを使用する場合は、イスに名前を貼っておくと、本番の間違いがなくてよい。
午 後	・特別支援児童と保護者は、事前に学校の環境に慣れるために、前日登校をする。環境把握と入学式の流れを確認し、安心感をもたせる。 ・校内の装飾 ・最終チェック

🌱 前日準備を終えて 🌱



← PTA長子の目印シール

机上に置いた配布物セット

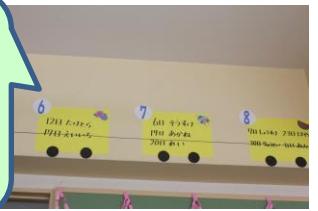
【にっかひょう】

一日の時間を視覚的にわかるように大判印刷して、掲示しています。

にっかひょう		
あさがくしゅう		8:15~8:20
あさのかい		8:20~8:30
1		8:30~9:15
じゃんび	つぎのべんきょうのじゃんび	トイレ みずのみ
2		9:20~10:05
なかやすみ		10:05~10:25
じゃんび	つぎのべんきょうのじゃんび	トイレ みずのみ
3		10:30~11:15
じゃんび	つぎのべんきょうのじゃんび	トイレ みずのみ
4		11:20~12:05
きゅうしょく		12:05~12:45
そうじ		12:45~13:00
ひるやすみ		13:00~13:20
じゃんび	つぎのべんきょうのじゃんび	トイレ みずのみ
5		13:25~14:10

【誕生日を掲示】

一人一人が大切にされている雰囲気。コミュニケーションツールや月日の概念を覚えることにも効果的です。



【扇山の1年間】

前年度の一年生が生活科「もうすぐ2年生」で一年間の行事写真と作文を作成します。

【ロッカーのしまいかた】

一人でも片付けができるよう、必要な箇所に写真標示をしています。

【くつのしまいかた(右の写真)】
下駄箱の上靴と外靴の置き方を写真標示しています。



【廊下掲示】
学校全体で一年生を迎える装飾を。



【入学式後3日間の 下校先】

右の地図に、下校先を色で示した名簿を横に掲示します。

入学式終了後、下校前に確認してもらい、訂正があれば朱書きしてもらいます。





※オレンジの吹き出しは、幼児教育施設の方のアドバイスです。

時 間	内 容	備 考
1 時間目 9:15～	始業式・着任式 ※9:00 まで参加し、その後、教室へ 受付を終え、教室へ来たら ① 入り口で担任と挨拶＆握手 ② ネームを探し、黒板前へ行き、個人写真 （担当： ） ③ 保護者と一緒にロッカーにランドセルを入 れ、服掛けにジャンパーをかける。 （担当： ） ④ 席に着いて待っている。 ※必要に応じて、トイレの声かけ	・ 前日までにネームを用意 ・ 個人写真は生徒指導用写真に 使用。また、年度の終わりに ある生活科「もうすぐ2年 生」で活用してもよい。 ・ 前日までにロッカーの表示を 掲示しておく。
9:30～ (15 分間)	学級指導 ① あいさつ「おはようございます」 ② 担任の自己紹介 ③ 入学式の流れ 写真を見せて、入学式の様子を伝える。 ④ 返事の練習（学校による） ⑤ 時間が余ったら、手遊びや先生の名前ゲーム などでリラックスの時間をつくる	・ 入学式の様子や流れが簡単に わかる写真を用意しておく と、視覚的に捉えやすい。 幼児期に遊んだ手遊びな どを取り入れると良い
9:45	トイレ～保護者と一緒にトイレ。 終わったら席に着く。	
9:55	移動＆廊下に整列	
10:00	入学式	・ 式次第通り
10:40	入学式終了後 ・ トイレへ行って、席に着く ・ 在校生退場後、再入場し、写真撮影 ・ 再度、トイレの確認	・ 児童はとても緊張しているの で、トイレの失敗だけはない ように、丁寧に声かけを行 う。
11:00	学級指導 ① 担任あいさつ ※褒める！「返事がよかったよ」 ② お話 ※明日からの期待が高まるように。 学級目標についても触れたい。 ③ 保護者への連絡 ※配布物の確認 ※明日からの持ち物等は通信をご確認くださ い。 ※明日から3 日間の下校先の変更点の記入願 い。	・ 保護者への簡単なあいさつの 後に、児童の机の横へ来ても らい、一緒に配布物を確認し ていく。
11:20	帰りのあいさつ	
11:25	保護者と一緒に片付け・終わったら順に下校	

時 間	内 容	備 考
朝 登校時間 8:15 朝読書 朝の会	教室に入ったあと ① ランドセルを机の上において ② 上着をかける ③ ランドセル、帽子はとりあえず中身を出さずにロッカーへ ④ トイレ・水飲み  ⑤ 教室の中で過ごす。 ⑥ 8:15には席に座る。 ⑦ 担任による読み聞かせ（2冊ほど） ⑧ 日直の説明。 「朝の会・帰りの会・号令について」 「幼稚園でいうお当番さんだよ」 ⑨ 終了後、トイレへ	・1ヶ月程度、朝の打合わせは学年団の一人が出て連絡する。もしくは教務や2年生の先生に連絡をしてもらう。 ・①～④までの行程を写真で掲示しておくことで、自分で取り組むことができる。（CD-Rにデータ有り） ・絵本、塗り絵、折り紙、点つなぎなどの用意。 ・手遊び歌などを取り入れる。 ・担任で進める。
1時間目 「学活」 2時間目 「音楽」	① 号令の仕方 ② 教科「学活」の説明を一言で。 「みんなで身の回りのルールを確認したり、学校生活を楽しく過ごすためにどうすればいいかを考える時間だよ。」 「この時間は3つのことを勉強するよ」 ③ めあて「朝の準備を覚えよう」 ④ 休み時間の説明「5分休み」「中休み」 ⑤ トイレ・水飲み ① 「2つ目のお勉強だよ」 ② めあて「お友達と仲良くなろう」 ※じゃんけん列車と自己紹介を合わせる ① 「最後のお勉強だよ」 ② めあて「学校のトイレの使い方を知ろう」 ③ 中休みの過ごし方の説明 ④ 号令の仕方	2時間を90分として30分×3のモジュールで学習を進める。 ・「めあて」を示すことで学習の見通しをもつことができる。 ・中休みは教室で過ごす。今後、広場や体育館、外で遊べるようになることも伝える。
中休み	・教室で自由に過ごす 児童の好きなぬり絵や絵本、折り紙を配置しておく	・教室にゆったりできるスペースなどあるとよい。
3時間目 「生活」	① 号令 ② 教科「生活」の説明。 ③ 「学校で楽しみなことを発表しよう」 ① めあて「帰りの準備を覚えよう」 ② プリントの渡し方・しまい方 ③ 帰りの準備 ・名札をとる ・机の中のものを出す ・ランドセルを持ってくる ・上着を着て座る ④ 号令	・手の上げ方、あてられたら返事をしてたつことなど、発表の仕方を学ぶ。 帰る際には必ずハイタッチなどをして、担任と1対1で触れ合える時間を設ける。
帰りの会	① 担任が行う ② 方面別下校について	・方面別に帽子に色テープをつけてグループごとに帰る。



3日目～幼児期の「遊び」を意識した授業構築をすることがポイントです



時 間	内 容	備 考
朝 登校時間 8:15 朝読書 朝の会	教室に入ったあと ①～④は2日目と同じ ⑤ 教室の中で過ごす。 ⑥ 8:15には席に座る。 ⑦ 6年生による校歌指導など ⑧ 子どもと一緒に日直を始めてもよい。 児童の実態に応じて日直をスタートする。 ⑨ 終了後、トイレへ	・6年生の先生と打ち合わせをし ておく ～朝の支度の手伝い ～座席での読み聞かせ ・絵本、塗り絵、折り紙、点つな ぎなどの用意。 ・日直のお仕事(号令)をラミネー トしておく。
1時間目 「学活」	① 先生と一緒に号令 ② ロッカーの使い方を簡単に説明。 ・ロッカーからランドセルが出ていると… 「写真をまねして、綺麗に使おうね。」 ③ ジェスチャーゲーム ・笑う→泣く→怒る→お腹痛い・頭痛い ④ 「学校で具合が悪くなったらどうしよう」 ⑤ めあて「保健室の使い方を知ろう」 ・養護教諭の紹介→バトンタッチ ⑥ 保健室へ行こう ⑦ 教室へ戻って振り返り ⑧ 先生と一緒に号令	子どもは幼児期にお当番 さんを経験しています。 ・ロッカーはランドセルが出てい ると転倒する危険があることを 知らせる。 ・養護教諭と事前に打ち合わせ ・初めての校内探検 「はさみ」の指導。
2時間目 「書写」	① 号令 ② 「前日の『生活科で学校でできるようになり たいこと』から文字について学習するよ。」 ③ 教科「書写」の簡単な説明。 ④ めあて「文字探検をしよう」 ・探検バッグを用意する。 ・ルールを伝える。 ⑤ 交流 「読めない字は、これから読めるようになるよ。」 ⑥ 号令	・児童発信の学習を取り入れるこ とで、必要感・主体性をもたせ る。 ・安全に留意する。教員が少ない 場合は、場所の制限をするな ど。 ・廊下での学びの仕方に生活科の 「はさみ」を想起。 ・これからの学びへの期待感をも たせる。
中休み	・教室で自由に過ごす	・6年生がきてもよい。
3時間目 「音楽」	① 号令 ② 教科「音楽」の説明を一言で。 ③ 貨物列車でウォーミングアップ ④ 「みんなこの曲知っているかな？」 ・イントロドン ⑤ めあて「さんぽに合わせて動いて遊ぼう」 ・歌う→手拍子→足踏み ⑥ 「さんぽの歌詞クイズ」 ・どんな生き物がいたかな？ ⑦ 最後にもう一回歌いましょう。 ⑧ 次時の予告号令	・貨物列車のようにして遊びを入 れてもよい。 ・動物や道の写真、絵を用意して おくもよい。 子ども達は音楽が大好き。音楽 をかけると自由に自ら表現する ことができます。 帰る際には必ずハイタッチなど をして、担任と1対1で触れ合 える時間を設ける。
帰りの会	① 担任と一緒に児童が行う。 ② 方面別下校で下校する。	・方面別に帽子に色テープをつけ てグループごとに帰る。

続きは、データ内のExcelファイル「スタートカリキュラム報告書」をご覧ください。
 入学式から5週分のカリキュラムが入っています。

スタートカリキュラム報告書の活用方法

富良野市立扇山小学校 スタートカリキュラム

4月 第1週「安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした指導」

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	4月7日(火)	4月8日(水)	4月9日(木)	4月10日(金)	4月13日(月)
行事	入学式			交通安全教室	身体測定・給食開始
教科書		担任は教室で出迎え 朝の準備・教室内で過ごす	6年生によるお手伝い		
朝の会		担任による朝の会	担任による朝の会	担任による朝の会	担任と一緒に日直による朝の会
1		学 ※90分(聖に減算休憩) ①【学】30分 ・学習の挨拶の仕方 ・朝の支度の仕方 ②【学・国】30分 「わたしのなまえ」 ・仲良くなる(異物列車) ・音楽に合わせて ③【学】30分 ・トイレの使い方(和洋式) ・中休みの過ごし方	主 【学】ロッカーの使い方。保健室 について知る。 国 【国】「これのおおきさどのくらい」 学 【主】校内探検①保健室の場所が わかる。T1表紙教諭。	国 【国】国語の学習目標と準備の 仕方を知る。「なつよしのき」 教科書の持ち方。挿絵を見なが らクイズ形式で概要をつかむ。 算 【算】いくつかクイズで数に強し む。	国 【国】ひらがな1文字目。「なつ よしのき」音読。声の大きさ。挿絵や 文から内容を知る。 生 【生】幼児期に読んだ絵や文字へ の関心を引き出す。
2		国 ①【学】30分 ・トイレの使い方(和洋式) 学 ・中休みの過ごし方	学 【学】学習準備の仕方。学習道具 の使い方。探検バッグ。 書 【書】学校の文字探検。 一科目【主】校内探検。 書 ※前日の生活科から取り入れる	行 交通安全教室 ※講師は警察署職員。 座下校の安全。 自転車の乗り方。	行 身体測定 ※保健教諭、担任より身体測 定の説明をし、移動する。仲 根用の給食を用意させる。
中休み		【教員】教員配置。児童の得意なものを 配置し、コミュニケーションを促す。			【教員】全員が終了するまで教室で静かに 待つ。トイレ時間の確保。
3	入学式	生 【生】学校でできるよさになりたい ことを発表しよう。 国 【国】名前を呼ばれたら返事をする ことを知る。 学 【学】帰りの支度の仕方を見えよ う。	書 【書】音楽の学習目標と準備の仕 方を知る。幼稚園での歌。 主 【主】リズムに合わせて、走った りスキップしたりしよう。 学 【学】帰りの支度に慣れよう。	主 【主】生活の学習目標と準備の 仕方を知る。幼稚園と学校の違 いを見つけよう。 学 【学】帰りの支度に慣れよう。	算 【算】数詞の学習目標と準備の仕方 を知る。「なつよしのき」探 しっこ遊びを通して、数詞の概念に 慣れる。 生 【生】幼児期に絵本や遊びで学んだ 数用語を遊びを通して想起させ よう。
4	学級指導 持ち物の確認	※一人一人と触れあう時間を確 保する。帰りのハイタッチなど	園に児童の 好きな歌を聞く	数の感覚に 課題のある 児童への手立て	主 【主】校内探検②パントリーの 場所がわかる。幼児期を想起。 学 【学】給食準備。給食時。 ※1/3時間給食の時間。食卓時 間は20分は確保。
給食					配膳は教員が行う。※幼児教育施設 では自分で取りに行く経験をしてい るが、1学年の人数による。
掃除					
休み					
5					

太字と下線は、幼児教育施設の方のご意見です。

【要録の見とりとカリキュラム構築の視点】

- ①健康な心と体「見通しを持って行動する力」
- ②道徳性・規範意識の芽生え「善悪の判断・規律遵守・共感や調整」
- ③言葉による伝え合い「経験したことを伝える力、聞く力」

【※支援体制】準備資料など】

※登下校のグループを作成。集団下校の際の引率教諭に依
頼。

※担任が児童一人ひとりと触れあえる機会を意図的
につくる。
(帰りのハイタッチなど)

※児童だけの時間にならないよう、担任、支援員、特別支援
コーディネーターなど学校全体で支援する。

※特別支援児童の前日登校を準備する。

※プリントの折り方などは幼児教育施設でも経験済み。

・保護者への連絡事項を整理。学年使りの準備。

・入学式での配布物を準備。(学校全体で準備する。)

・児の健康に関するものを整理する。(食物アレルギーな
ど)

・日直に必要なもの、司会表などの準備(児童の実態に応じ
て開始する。)

【環境整備】

○教室、机、ロッカー、ジャンパー、靴箱に名前シールを貼る。
(P.戸数シールを机に貼ると配布時に便利。)

○机・イスの高さを確認する。

○時計(分の日進みの表示)

○組の支度、机の中の整理の仕方、学習準備の仕方も写真で用意。(ランドセルを
しまふ・ジャンパーをかける・提出物をだす・名札つけ・トイレ水飲み)

○給食開始。給食の準備、片付けの順番、音楽の1F等

太字と下線は、幼児教育施設の方のご意見です。

- ◆校内用に作成したものをプリントし、朱書きで随時、評価・改善を図るなどしてご活用ください。
- ◆時数は自由にコピー・貼り付けで変更ができますので、時数に気をつけながら各学校に合わせ変更してください。

じかんわり

安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした指導
★年間を通して指導事項を抑えつつ「遊び」を取り入れた授業構築を。

	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()
よてい	にゅうがくしき	しゅうだんげこう		こうつうあんぜんきょうしつ	しんたいそくていきゅうしよく
1		がっかつ	せいかつ	こくご	こくご
		がっこうのやくそく	せいかつかがはじまるよ	なかよし	なかよし
2		おんがく	しょしゃ	ぎょうじ	ぎょうじ
		おんがくにあわせて	がっこうのもじたんけん	こうつうあんぜんきょうしつ	しんたいそくてい
3	ぎょうじ	せいかつ	おんがく	せいかつ	さんすう
	にゅうがくしき	せいかつかがはじまるよ	おんがくにあわせて	せいかつかがはじまるよ	なかよしあつまれ
4	がっかつ				がっかつ
	1ねんせいになって				がっこうのやくそく
5					
もちものなど		おどうぐばこ (くーびー、くれよん、はさみ、のり、かきかたべん、ねんど)	たんけんばっく	たいいくぼうし なわとび	おはしせっと えびろんせっと
	【まいにち もってくるもの】 ハンカチ・ティッシュ・れんらくちょう・じかんわりの きょうかしよ・ノート じゅうちょう・ふでばこ(2BかBのえんぴつ4ほん、あか1ほん、けしごむ)				
かえるじかん	11:30	11:30	11:25	11:30	13:15

【幼児教育施設の意見】

- プリントの折り方やお当番さん(日直)は、幼稚園でも経験しています。
- 子どもの好きなものの絵本や掲示物を配置すると、子どものコミュニケーションが広がります。
- 担任が児童一人ひとりと触れあえる機会を意図的に作りましょう。(帰り際のハイタッチなど)

【これが大事】

- 朝の準備や学校のルールを写真で見せる工夫。
- 紙芝居、絵本、折り紙、ぬりえ、お絵かき帳の用意
- 6年生担任と「朝の支度」「ふれあいタイム」の打ち合わせ。
- 交通指導員さんと登下校の確認。

じかんわり

○安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした指導
○合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習

	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()
よてい					さんかんび
	こくご	しょしゃ	こくご	こくご	こくご
	なかよし	はじめのがくしゅう	こえのおおきさどのくらい	わたしのなまえ	わたしのなまえ
	さんすう	せいかつ	おんがく	さんすう	懇談
	なかよしあつまれ	がっこうたんけん	おんがくにあわせて	いくつかな	懇談中の託児の準備を！
	たいいく	さんすう	さんすう	ずこう	
	おにあそび	なかよしあつまれ	なかよしあつまれ	かきたいものなめに	家庭訪問の日程調整も！
	せいかつ	どうとく	せいかつ	ずこう	
	わくわくどきどきしょうがっこう	がっこうだいすき	わくわくどきどきしょうがっこう	かきたいものなめに	
					
もちもの	さんすうせっと	こうさくまっと	けんばんはーもにか		
	【まいにち もってくるもの】 ハンカチ・ティッシュ・れんらくちょう・じかんわりの きょうかしょ・ノート じゅうちょう・ふでばこ（2BかBのえんぴつ4ほん、あか1ほん、けしごむ）				
かえるじかん	13:15	13:15	13:00	13:15	9:30

【幼児教育施設の意見】

○幼児教育施設では、お当番さんが牛乳を注いだり、自分たちで盛る、配膳をする経験をしています
○参観日の周知をしましょう。（年度初めにスクールカレンダーを送っておきましょう。）
参観日では幼児教育施設の方にアンケートを書いてもらいましょう。ハンドブック掲載のアンケートを参考にしてください。

【これが大事】○日直の読み上げカードを用意しておきましょう。

○4時間目は35分で切り上げ、給食準備の時間を確保しましょう。

○方面別下校になるよう声かけし、一人で下校させない配慮をしましょう。

	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()
よてい	1 ねんせいをむかえるかい		ひなんくんれん じびかけんしん	かていほうもん	かていほうもん
1	こくご	こくご	こくご	こくご	こくご
	こえのおおきさどのくらいひらがな	おはなしたくさんききたいな	おはなしたくさんききたいな	おはなしたくさんききたいな	たのしいいちにち
2	さんすう	たいいく	ぎょうじ	たいいく	たいいく
	いくつかな	こていしせつをつかったあそび	ひなんくんれん	こていしせつをつかったあそび	たのしくあそぼう
3	ぎょうじ	せいかつ	さんすう	さんすう	せいかつ
	1 ねんせいをむかえるかい	わくわくどきどきしょうがっこう	いくつかな	いくつかな	2 ねんせいとのこうりゅう
4	どうとく	せいかつ	がっかつ	おんがく	さんすう
	きもちのよいせいかつ	わくわくどきどきしょうがっこう	がっこうのやくそく	どんなうたがあるかな	いくつかな
5			ぎょうじ		
			じびかけんしん		
もちもの	【まいにち もってくるもの】 ハンカチ・ティッシュ・れんらくちょう・じかんわりの きょうかしよ・ノート じゅうちょう・ふでばこ（2BかBのえんぴつ4ほん、あか1ほん、けしごむ）				
かえるじかん	1 3 : 1 5	1 3 : 1 5	1 3 : 0 0	1 3 : 1 5	1 3 : 1 5

【幼児教育施設の意見】

○学習面での困り感がみられたら、いつでも連絡ください！電話でもいいですよ。
（認知や文字への関心、立ち歩き、気持ちの切り替え、不適應の対処法など）

- 児童に実態に応じて席替えを実施しましょう。○学校司書と図書室の利用の確認をしましょう。
- 健康診断は初めてです。子どもたちに事前に説明をしておきましょう。
- 体育と合科で校庭探検へいきましょう。教務部との確認が必要です。
- 遊び場が増えることから、「長い針〇には戻ってきてね」という約束と共通理解の徹底を図りましょう。

	日（げつ）	日（か）	日（すい）	日（もく）	日（きん）
よてい	かていほう もん	かていほう もん	かていほう もん		
1	こくご	こくご	こくご	こくご	こくご
	たのしい ちにち	たのしい ちにち	かいてみ よう	かいてみ よう	こえをあ わせてあ いうえお
2	さんすう	さんすう	どうとく	せいかつ	さんすう
	いくつかな	いくつかな	あかるい あいさつ	わくわく どきどき しょうが っこう	いくつかな
3	ずこう	せいかつ	さんすう	たいいく	せいかつ
	ちょきち よきかざり	わくわく どきどき しょうが っこう	いくつかな	たのしく あそぼう	わくわく どきどき しょうが っこう
4	ずこう	せいかつ	たいいく	さんすう	せいかつ
	ちょきち よきかざり	わくわく どきどき しょうが っこう	たのしく あそぼう	いくつかな	わくわく どきどき しょうが っこう
5					
もちもの	【まいにち もってくるもの】 ハンカチ・ティッシュ・れんらくちょう・じかんわりの きょうかしよ・ノート じゅうちょう・ふでばこ（2BかBのえんぴつ4ほん、あか1ほん、けしごむ）				
かえる じかん	13：15	13：15	13：00	13：15	13：15

【幼児教育施設の意見】

○ぜひ、2学期以降に交流しましょう。公園で待ち合わせもいいですね。

OGW 明けです。学校生活のルールを再確認しましょう。

○学習の足跡を掲示しましょう。生活科で探検したことなどは、いつでも見られるようにしましょう。

○掃除に向けて～清掃当番の掲示、机位置がわかりやすいように床にテープやマジックで印をつける。

○読み聞かせボランティアの募集をはじめてもいいですね。

○外での体育が始まります。運動靴の準備を通信でお願いしましょう。

10 子どもたちの力をさらに発揮するために（実践例をもとに）

🌻 スタートカリキュラムだけじゃない！年間を通して幼保小の交流を 🌻

○子どもの実態を知るため

○幼児教育の学びを知るため

○幼児教育施設職員と小学校の先生との垣根をなくすため

と、「幼保小交流のよさ」は、数多くあります。

幼保小のつながりは、会って話す機会が多ければ多いほどつよくなります。幼保小のつながりがつよくなると、お互いの教育を深く理解することができます。

そして、それらを教育課程に反映することで、子どもたちの力をさらに発揮することができますようになります。

幼保小交流については、生活科の年間指導計画や学校の教育計画に年に一度は必ず位置づけ、継続的な交流を図っていくことが大切です。

🌻 年間計画への位置づけを 🌻

扇山小学校



【教科】 生活科「あきのたからものらんど」

【時期】 11月末

【対象】 慈恵ひまわり幼稚園年長

【内容】 生活科「きせつとなかよし あき」で集め、学んだ秋の葉や実を使っておもちゃを製作し、保護者、地域の方、他学年や幼児を招く内容。

【経緯】 H17年から幼小交流を実施しています。H30年までは年2回実施し、1回目は「あきのたからものらんど」、2回目は「校内案内」を実施していました。

こんな好循環の取組が
生まれています！



小学校での体験を生かして、小学校での体験を基に、未就園児にお店やさんをする保育活動。体験を想起しながら、園児の資質・能力を高める保育となっています。

東小学校



幼小連携事業を機に、ルンビニ幼稚園と交流をしました。学習内容は同様ですが、幼稚園児を迎える練習に、地域や保護者の方をお招きしていました。地域のお年寄りの知恵をお借りして、本番は大成功！

子ども達の自信に満ちた表情も素敵でした。

鳥沼小学校

学校経営案の中に、「幼小中の連携」を明記しています。全体で時期を把握していますので、確実に幼小連携が実施されます。

各学校においても、生活科の年間指導計画上に幼小連携をいつでも明記することができます。年度の初めに指導計画に手書きでよいので、記述し計画しておきましょう。

まだある！こんな取組事例

- 行事などの相互参観
(運動会、学芸会、参観日)
- はる～一緒に散歩
なつ～公園や校庭で待ち合わせ
ふゆ～雪山で遊ぼう
- 2年生の町探検で幼稚園見学へ！

はぐくみステージプラン
小さな種 のステージ

あたまづくり (知恵の木) ■相手の話をきちんと聞く子になっている ①話を静かに聞くマナーが身についている。 ②人が話し終わってから話すルールが身についている。	こころづくり (情慮の木) ■言葉で関わりをもてる子になっている ①あいさつのできる子になっている。 ②返事のできる子になっている。
からだづくり (健康の木) ■正しい生活リズムで過ごす子になっている ①起床・早起き・前にはんが習慣になっている。 ②睡眠時間が9時間以上は確保されている。 ③食べ物の好き嫌いを減らす意識をもっている。	生活スキルづくり (学びの環境) ■基本的な生活スキルが身についている ①鉛筆の持ち方や書使いが正しくできている。 ②おおよそ時計を認識して行動できている。 ③言葉えや持ち物の片付けができている。

【～3月】

つながりづくり
(円滑な接続を生む具体的手立て)

■幼稚園体験研修(1月 小学校→幼稚園)
【園児】小学校の先生による授業を体験し、入学への期待が高まっている。
【小教】①園児が興味を持った活動を入学期に取り入れ、子どもが安心して過ごすことのできる環境を整えている。
②園児が幼児教育を通じて培ってきた能力を知り、学校生活(授業も含む)においてそのよさや得意なことを生かした教育活動を実践している。

■小学校ミニツアー(2月 幼稚園→小学校)
【園児】小学校の設備や授業の様子を見て、入学への意欲が高まっている。
【小教】小学校の授業の進め方や、児童への声かけの様子を参観し、年長児クラスにおける入学期の指導に生かしている。

*幼稚園・小学校:実践の様子を各々「たより」に掲載し、保護者との共通理解に繋がられている。

【(幼)はアプローチカリキュラムに、(小)は教育計画に位置づけたい “ミニ先生”】

慈恵ひまわり幼稚園

外勤のため
依頼文書が
必要です！



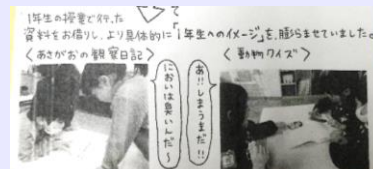
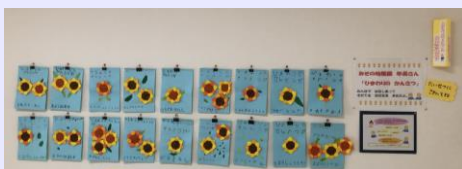
- 【成果】・園児の声から実現したカリキュラム。
・その後の1日入学でミニ先生は大人気。
＝小学校への安心感が高まった。
- 【課題】・幼児教育施設から依頼の電話をするには、まだ敷居が高いと感じている。

虹いろ保育所



- 【成果】・扇山小における幼小合同の校内実技研修から実現。顔を合わせることが大事！
・園児は小学校の体育に興味津々で、意欲的に体験していました。
- 【課題】・一時に終わらず年間計画への位置づけを！

【コロナ禍だからこそ生まれた交流 学習の制作物の交流】



- 【成果】・小学校への期待感が高まる。
・小学生は、学習の達成感を得られる。

- 【課題】・今後、各施設間で気軽にやりとりをし、ぜひ繋がっていただきたい。

幼小合同研修会

教育委員会が主催し、北海道より幼児教育推進センターの方をお招きしました。

講話とともに、幼児教育施設職員と小学校教員が幼児の活動写真から「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を見出したり、小学校の生活科の単元づくりを共に構築する演習を行いました。

それぞれの立場によって異なる視点や同じ視点などを発見し、互いの教育を深く理解することができました。

富良野小学校 授業見学

年長時に担任をしていた幼稚園・保育所の先生を対象に実施しました。(参観後のアンケートを次ページに掲載)

参観日の見学とは異なり「しっかりと授業をみる」という経験は初めてのことでした。特に、特別支援教室は未知の部分が多く、教室環境や授業構築に大変興味を示されていました。個別学習によって自信をつけた児童の変容にも感動されていました。

通常学級では、児童の意見を取り入れた「主体的で対話的な授業」に驚いていました。小学校での学びを知り「幼児教育施設でも、その素地となる“言葉による伝え合い”の活動をより一層重視し、園児の力をさらに伸ばしていきたい。」という意見をいただきました。

扇山小学校 校内実技研修

校内研修にて幼児教育施設の方をお招きして、合同研修会を行いました。

【令和元年度】

- ～講話「幼小連携の必要性」
- ～演習「4月の教室設営を協働して計画しよう」
- ～体育実技研修

「幼児期に身に付けたい身体の動きと、
小学校低学年で活用できる授業アイデア」

特に体育は大変好評で、幼児教育施設の先生方も今すぐ役立つ専門的な研修を求めていることがわかりました。

【令和2年度】

- ～実技研修「リトミック」

講師：慈恵ひまわり幼稚園長

幼小の接続期から小学校高学年までの音楽に活用できる内容の基礎を体験しました。遊びの要素を取り入れた専門的な学びに感動し、次の日すぐに、授業に取り入れている先生が多くみられました。



まだある！こんな取組

校内研修の公開授業と研究協議に幼児教育施設職員の方を招いている学校もあります！
ぜひ、お知らせを！

富良野市で幼小交流してみると「小学校授業参観」



教科	感想	幼児教育との関連
特支算数	・幼稚園の時には、声が小さく、ほとんど会話をしていなかった子が、とても伸びやかに先生や友達と大きな声でやりとりを楽しみ、ガラガラと笑う姿が見られ、大きな自信の伸びと成長を感じた。	
国語	・半年前には、なぞり書きでさえ文字を書くことに苦戦していたが、ひらがなをスラスラ書けるようになっており、「半年の成長」を感じた。 ・卒園児は保育所と同様にのびのびと生活して、学校では自信をもって手を上げて意欲的に発言	・日常・拡散思考の遊び、自由に表現する楽しさを味わえる活動
算数	・子どもが前に出て発表することで、全体が集中していた。 ・ブロックを使うことで、数が視覚化され、理解しやすくなっている様子や、自分の考えを伝えやすそうな様子も見られた。	・日常生活のあちこちにある「数」に触れる機会を意識的に多くし、生活や遊びの中に取り入れたり役立てていく。
生活	・幼稚園のときにも「自分たちで考え、相談をして、決めていく」という経験はしているが、お互いの気持ちを伝え合い、「じゃあ、そこからどうしようか？」という『自分たちで考える』という気持ち・意欲・姿勢が以前よりもしっかりとした強いものに感じられ、「小学生らしくなったな～」と感じた。 ・イメージを広げ表現するツールに図鑑などを用いて他のは、保育所でも取り入れていきたいです。	・子どもの気づきから展開されていく保育 ・自由な発想を受け入れてもらえる環境

○教室前面に掲示物が少なく、集中しやすい環境づくりが参考になりました。

○子ども対子ども、子ども対先生とのやりとりや伝え合いが多く、「子どもの主体性を引き出す授業だな」と感じました。「言葉で伝え合うことの重要性」と感じ、さらに私も意識して、子どもの声を大切にしながら、考えをどんどん引き出していききたいと思います。

【授業見学後のアンケート用紙】

※スタカリハンドブックのデータにあります。

4月の参観日等で受付に用紙を用意するなどして、ご活用ください。

※気軽な意見交換が、大きな成果につながります！

() 小学校訪問 () 幼稚園・保育所 (氏名) ()

1年 組 教科 ()

【気がついたこと】
※児童の様子、幼児期からの変化、児童への有効な手立て、幼児教育に還元できそうなこと…など感想を！

【幼稚園・保育所の内容と、つながりがありそうな項目はありますか？ ※○で囲んでください。】

①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性 ⑤規範意識の芽生え ⑥社会生活との関わり
⑦思考力の芽生え ⑧自然との関わり・生命尊重 ⑨数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
⑩言葉による伝え合い ⑪豊かな感性と表現

【お便りの交流 ～学びの繋がい～】

【成果】

- ・互いの学びを知ることができる。
- ・参観日や行事などの日程を確認することができ、参観の計画を立てることができる。

【課題】

- ・教育委員会を介さず、各施設間でお便りのやりとりを継続したい。



上川管内の先進的な取組

(1) 幼児教育施設職員と小学校教諭が合同で研究授業を実施

令和元年度に全道大会へ向けて定期的な幼小の交流を実施。季節ごとに遊び会などを開催し、秋には幼小合同で研究授業を行いました。

(2) 市町村教育研究会に幼児部として会員参加

小学校、中学校の教員と同様、年間計画のもと研修を行っています。年度末には研究紀要も作成しています。





富良野市スタートカリキュラムハンドブック

令和3年3月発行

発行者 富良野市教育委員会